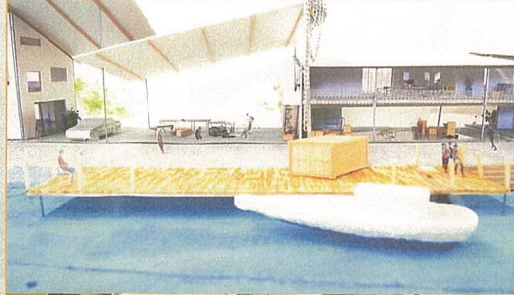


東糶谷の ヒトダマリ ミズダマリ モノダマリ

楠元彩乃

都市のグロイドとなっている運河を中心にモノづくりが展開される一つの集落の提案

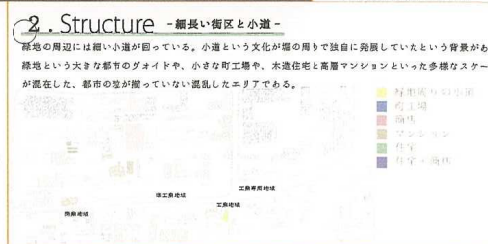


コインランドリーや水回りなど半屋外空間を多く持つ生活共用部
運河に面したバルコニーや庭を持つ住戸

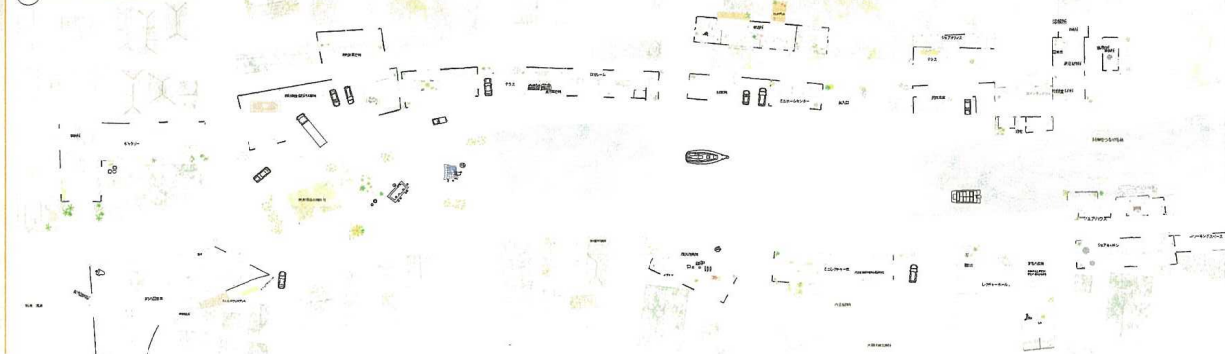


3. Diagram

緑地の成り立ちがそのまま
建築の形になるような、
一つの小さな環状のようなもの



6. Plan 1:750



大田区の東糶谷にはもともとは堀であった緑地という帯状の都市の公共空間が存在する。
この緑地にゆるやかに水を戻し、モノづくりの現場と離れた街との関係を
編み込む一つの集落を提案する。
用途地域によって変わる街区のそれぞれの特徴を掴むインターフェイスのような建築を
既存のまちに調和させながらばらまく。
モノづくりの拠点となるようなアトリエ、ミニホームセンター、宿泊所などを配置する。
流通のための運河の利用を考え、人々の生活にモノづくりが浸透していく風景が
紡ぎ出される。